

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	1 工場閉鎖による継続企業はどうなっているのか	<p>日本フードパッカー鹿児島(株)並びに日本ピュアフード(株)が令和5年3月末をもって閉鎖すると報道され、すでに8か月となる。その間、県議、市長をはじめとする市当局においては近隣市町の就職先のあっせん等に懸命に動き、また敷地、建物を所有する(株)ジャパンファームへの食肉加工関連をはじめとする後継企業への働きかけ等も行なってきた。</p> <p>6月議会では従業員へのアンケート調査についても質問し、9月議会では、継続事業として検討している企業があると答弁された。その後の経過について伺う。</p> <p>(1) 工場閉鎖発表後、別企業への就職を検討している従業員の情報等は把握しているのか。</p> <p>(2) 伊佐市の企業誘致活動の現況はどうなっているのか。</p> <p>(3) 継続企業の可能性はあるのか。</p> <p>(4) 企業誘致として受入れるとするならば、本市の支援体制はどうすべきと考えるか。</p> <p>(5) 今年も暮れに入り残された時間も少ない。素早い対応を望むが。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	福本千枝子議員	2 新庁舎建設を急ぐべき	<p>新庁舎建設については、市民の皆さんとともにワークショップを開催し、それらの意見を参考にし構想ができあがり、今年の6月議会では「新市まちづくり計画の一部変更」も可決され、やっと大口ふれあいセンターと融合した基本設計が議会にも示された。今後、実施設計へと移行し、ふれあいセンターや中央公園の解体と進み、令和6年度から新庁舎建設と同時にふれあいセンターの改修工事も始まり、外構工事、公園整備と終わり、令和8年度から運用開始となる計画である。市民全戸への伊佐市新庁舎建設基本設計が配布され、若い世代の色々な夢ある声も聞こえてきている。そこで、</p> <p>(1) 市民説明会が大口会場・菱刈会場で開催されたが、会場での参加された方々の意見の内容等は。その意見について市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 市長をはじめ市当局は、菱刈の方々に不自由がないようにと職員の配置を考えている。新庁舎建設を白紙撤回の声も聞く。反対される理由として何が問題なのか。一般質問でもあったが、大口庁舎を本庁舎とすることなのか。</p> <p>(3) 今、世界の経済状況は不安定で円安状況が続いている。資材の高騰や現場で働く人材等も不足しており人件費も高騰している状況である。早めの着工を望む。市長の見解は。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	柿木原榮一議員	<p>1 市道の維持管理について</p> <p>2 伊佐市の奨学金制度について</p> <p>3 新庁舎建設について</p>	<p>(1) 市道の一時停止の白線、先の見えないカーブの中央白線、道路両端の白線の現状をいかに分析しているのか。また、一時停止の白線、止まれの表示、中央白線、道路白線が消えているが、どのように把握されているか。</p> <p>(2) これらの白線の消失されたものをどう管理されていくのか。</p> <p>(3) 道路使用の使用頻度、使用しているペンキの質でも違うが、年次毎に計画的に維持管理をされる考えはないのか。国からの交通安全交付金では足りないと思うが、市から算出できないのか。</p> <p>(1) 伊佐市の奨学金事業は、返済を必要とする「貸与型」であるが、社会に還元できるような高度人材が安心してチャレンジできる仕組みが必要だ。国は、2017年度に低所得者層向きに給付型を新設したが、伊佐市は奨学金制度としてどう考慮しているのか。</p> <p>(2) 卒業後の収入に応じて「出世払い」型奨学金の制度設計を巡る議論も出てきた。出世払いの狙いは、一定の収入を得られるまで返済が重荷にならないという安心感を与える想定をしているとのことである。収入の確保が困難な時代で、教育委員会・関係各課で議論ができていくのか。</p> <p>(1) 新庁舎建設基本設計（案）の説明会があったが、議論が噛み合わなかったが、対応策についてどのように考慮されたのか。</p> <p>(2) 整備目標「時間を共有、賑わいを育む」で何%アップを検討しているのか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	村岡 強志議員	1 伊佐市における医療提供体制はどうなっているか	<p>(1) 高齢者等の交通手段について            ア 通院バス協議会が運営している通院バスをどのように認識しているか。</p> <p>(2) 専門外来など減少している医療提供体制は、万全であるか。            ア 市内の病院及びクリニックの数・急性期病院の数は。            イ 診療科の数は。            ウ 4月27日付の北薩病院外科の休診と8月17日付の北薩病院の病床35床縮減について。</p> <p>(3) 医師不足が問題になっているが、伊佐市の現状は。            ア 医師の平均年齢は。            イ 医師の数は。</p> <p>(4) 今後、市民に対する安心安全な医療提供体制をどう考えるか。            ア 10年後、20年後の病院及びクリニックの数をどのように予測しているか。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	武本 進一議員	1 認知症の方がいる世帯への住宅用火災警報器設置費用の助成について	<p>(1) 過去3年間の認知症の方がいる世帯数と今後の推移を伺う。</p> <p>(2) 火災警報器は交換時期などの設置基準がある。そして認知症による火災での逃げ遅れ防止の観点から、該当する世帯には特に気をつけなければならないと思うが、どのような注意喚起を行っているのか。</p> <p>(3) 住宅用火災警報器が作動した時の認知症の方への対応について伺う。</p> <p>(4) 住宅用火災警報器が設置されていない認知症の家族がいる世帯に費用の助成はできないか。</p> <p>(5) 火災における認知症の方の逃げ遅れ防止について市長の見解を伺う。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	武本 進一議員	2 菱刈庁舎で取り扱う業務関連について	<p>(1) 10月下旬に行われた伊佐市新庁舎建設の基本設計(案)市民説明会に参加されなかった方々や、ホームページなどを見る環境にない市民の皆様にも、(菱刈庁舎で取り扱う事務手続きを含めて)伊佐市内の全世帯に配布して、市民の皆様の理解を得ることが大事であると考えている。見解を伺う。</p> <p>(2) 新庁舎と菱刈庁舎のオンライン通信環境を整備し、必要に応じて職員連携を可能とするとのことだが、どのような場合を想定しているのか伺う。</p> <p>(3) 菱刈庁舎の人員配置について、大口庁舎・菱刈庁舎においても同じ執務環境を整備する案が提示されている。菱刈庁舎においても農政課、林務課、建設課等に関する市民生活の手続きが必要と考えるがどのように対応していくのか。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	今村 謙作議員	1 新庁舎建設について	<p>(1) 去る10月29日、30日伊佐市新庁舎建設基本設計(案)の説明会が、大口地区、菱刈地区でそれぞれ開催された。特に菱刈地区での説明会では菱刈庁舎で取り扱う業務の説明もなされた。そこで以下の点について伺う。</p> <p>ア まず、新庁舎のイメージの説明があったが、現段階では基本設計ということで、実施設計までにはまだまだ計画の変更はできると思うが(縮小または拡大も含めて)執行部としては今後どのような計画か伺う。</p> <p>イ 菱刈庁舎での業務内容の説明では、「市民生活に関係した手続きは、継続していく。また、大口庁舎のみで行っている市民生活に関係した手続きについても、必要とされる執務環境や配置される職員数等を考慮しながら、菱刈庁舎でも行えるよう検討をしていく」とあるが、市民生活に関係したものだけでなく、建設課・農政課・林務課・税務課等、あらゆる課等へも市民から相談等があると思うがどのように考えているのか伺う。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	星野 元興議員	<p>1 東京ゲームショウ出展について</p> <p>2 新庁舎建設について</p>	<p>(1) 東京ゲームショウ出展について</p> <p>ア 今回の東京ゲームショウ出展は、盛況であったと聞く。市長の感想を伺う。</p> <p>イ 今回の出展は、ゲーム業界に「伊佐市」がインプットされた瞬間だったと感じる。今後の展開をどのように考えているのか。</p> <p>ウ ゲーム業界とワーケーションの相性は良い。伊佐市においてゲーム業界に特化したワーケーション施設・シェアオフィスを設置できないか。</p> <p>(1) 新庁舎建設について</p> <p>ア 庁舎の規模が、当初予定より約 2,000 m<sup>2</sup>縮小された。縮小された主なスペースは何か。また、スペース縮小による執務への影響はないのか。</p> <p>イ 新庁舎が、オープンスペースでコンサートが行われたり、公園でマルシェが開催されたりと魅力ある場になることを望む。市長の新庁舎への思いを伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	



# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	久保 教仁議員	<p>1 集落機能の維持について</p> <p>2 農地取得の下限廃止について</p>	<p>(1) 農業集落の現状をどう捉えているか。                      ア 農業集落を構成する世帯数がここ近年減少傾向にある。とりわけ集落人口の減少・住民の高齢化が集落機能の弱体化を招いている。そのため、これまで行われてきたさまざまな共同活動の実施も困難になってきている。地域社会の基礎集団としての農業集落の現状と動向をどのように捉えているか。また、移住者対策の現状はどうか。</p> <p>(2) 農業集落の現状は。                      ア 高齢農業者離農による小規模農家の減少などで、担い手に農地集積や集約が期待されている。国は令和5年度までに担い手に8割の集積を目指すとしているが、伊佐の現状はどうか。</p> <p>(1) 農地取得の下限廃止について                      ア 日本農業新聞によると、耕作証明を得る農業者資格取得の要件の一つ、農地取得下限面積要件を廃止することだが、伊佐市としていつから対応できるのか。</p> <p>(2) 常時従事要件も撤廃されるのか。                      ア 農地取得下限面積の要件は低くなりそうだが、農業者資格要件である常時従事要件150日も撤廃されるのか。</p>	<p>市長 農業委員会 会長</p> <p>市長 農業委員会 会長</p>	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	遠矢 寿子議員	1 新庁舎建設及びふれあいセンター大規模改修について	<p>(1) 議会に対する情報提供時期について            昨年6月から基本設計の見直し中であることを理由に、議会における一般質問においても一切情報の提供がなされない状態が続いていたところ、何の前触れもなく広報いさ10月1日号と同時に市民説明会の案内と基本設計「案」説明書が配布され、非常に驚いた。市民に対する案内配布で議員も初めて知った事を市民に告げると、やはり一様に驚かれる。事前に議会側と協議すべきだったのではないか。</p> <p>(2) ふれあいセンター改修について            ア ふれあいセンターは「生涯学習、世代間交流の場として地域の人々が自ら学び、心豊かな人づくり、文化づくりに資するため」（伊佐市大口ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例第1条）に設置された、伊佐市の交流施設の中心的存在である。この3年間は新型コロナウイルス感染症拡大により人々が施設に集まりにくい状況が続いているが、それ以前の3年間（平成29年～令和元年）における同センターの年間利用者数と大まかな男女比を示されたい。            イ 今年の9月議会において、社会教育課よりふれあいセンターは来年3月で閉館予定と答弁があり、非常に驚いた。その決定はどの機関により、どのような過程を経て、いつなされたのか。決定権限の根拠条文とともに、簡潔に示されたい。            ウ 閉館予定を聞かされた複数の市民からも、驚きとともに「なぜ利用している団体や市民にまず改修の意向を説明し、利用者の意見を聞いてから進めないのか？市民の活動を何とも思っていないのか？なぜ市民より職員の都合が優先されるのか？」との声が届いている。この声に対し執行部はどう答えるのか。</p>	市長 教育長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	遠矢 寿子議員		<p>エ 図書館も一時閉館になることについて、図書館協議会ではいつ、どのような協議がされたのか。また、図書館の設計について図書館長や専門的職員である司書らはどのように関与したのか。</p> <p>オ 配布された資料の4階平面図に示されている会議室及び倉庫は「ふれあいセンター」なのか、それとも「庁舎」なのか。費用はどちらに算入されるのか。市民が優先予約可能な曜日・時間帯はいつか。共用するのであれば公務に関する情報が漏れる等の恐れはないのか。</p> <p>(3) 新庁舎について</p> <p>ア 2階平面図にある交流スペース、市民ギャラリー、市民に開放される構想の議場は土日祝日や平日夜間も利用可能との前提なのか。ギャラリーや議場でどのような催しが、年間何日ほど行われるとの想定なのか、想定の根拠とともに簡潔に示されたい。</p> <p>イ 「開かれた議会」、「透明性のある議会」とはガラス戸の開く、外から覗くことのできる議場のことなのか。講演会場やコンサート会場は議場の利用形態として一般的とは言えないが、臨時議会開催や通年制議会採用の可能性は考慮されたのか。</p> <p>ウ 毎年500人弱の人口減少に加えて、個人番号カード（マイナンバーカード）の普及と諸手続きのオンライン化により窓口業務は急速に減少していくと予想されるが、現在と比較して来訪者は何割程度減少していくとの見込みなのか。</p>		

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	遠矢 寿子議員		<p>(4) 事業費、財源計画について</p> <p>ア 配布された資料には「概算事業費」として総額が記載されているのみであるが、一般に、総額表示だけで明細のない見積書や請求書は通用しない。明細に関しても企画・設計費、構造躯体・外装・内装などの建設費、設備費だけでなく、維持管理費や修繕・更新費、光熱水費、解体費用まで含めた生涯費用を、議会のみならず市民に対しても、口頭ではなく書面で示す必要があるのではないかと、大口会場の説明会の帰り道で市民から意見があった。また、菱刈会場で質問があったように、借金の返済計画についても、償還完了までの公債費全体の推移を含む財政計画を、減少することが確実な人口データとともに書面で示し、議会と市民に説明すべきではないか。その意思の有無を伺う。</p> <p>イ 財政課の主な役割は、市民の生活を安定させ、よりよくするために必要なお金を集めて、その使いみちを計画することであり、各課の事業費を精査しコントロールすることと考えるが、その財政課が自ら事業を担当したら、増大する事業費に誰が歯止めをかけるのか。今のままでは最終的にいくらかかるか誰にもわからないとしか言えない状況である以上、一旦立ち止まって、納税者の納得が得られる程度に事業の見直しを検討してはどうか。その意思の有無を伺う。</p> <p>(5) 両会場の説明会の様子からすると、事業費に限らず、本事業に関して市民との合意はいまだ形成されていないと言わざるを得ないのではないか。菱刈地区からは庁舎の機能存続を求めて、総人口の1割を超える数の署名も提出されている。合併推進債は来年度中に実施設計に着手すれば利用可能であり、まだ十分時間は残されている。市民との合意形成を図るために、資料を追加し、説明会を開いて対話を継続してはどうか。その意思の有無を伺う。</p>		

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	遠矢 寿子議員	2 男女共同参画の取組について	<p>(1) 審議会等の委員に占める女性割合について</p> <p>ア 令和3年度から12年度までの10年間を計画期間とする第二次伊佐市男女共同参画基本計画において、施策の決定過程に幅広い意見が反映されるように、審議会等における女性委員の割合を令和7年度までに30%とする数値目標が設定されている。昨年6月議会でも取り上げたが、計画期間の2年目にあたる現在、女性委員がゼロ及び1人しかいない審議会はいくつあるのか、名称とともに示されたい。また、昨年と比較して減少したのか。</p> <p>イ 今年度の広報いさ8月号によると、令和3年度においては女性委員が前年度162人から166人と4人増加、割合も19.5%から20.1%とわずかながら上昇しており、取り組みを進めていることが伺える。もっとも、審議会等の数と全体の委員数が増加しているため、女性割合は平成22年度からの12年間で最高が平成26年の22.2%、最低が令和2年度の19.5%と、まさに「横ばい」の状況が続いている。計画期間内に目標値に達するために今後どのような「さらなる取組」が必要と考えているか伺う。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	遠矢 寿子議員		<p>(2) 女性管理職の登用について</p> <p>ア 第二次基本計画では市の課長職に占める女性の割合を令和6年度に10%とする数値目標が掲げられている。市民の多様なニーズを政策形成過程に反映させ、政策効率を高めるうえで重要な目標値であるが、令和2年度の4.2%（24人中1人）から本年度は上昇しているのか。また、係長職の女性割合はどうか。</p> <p>イ 昨年6月議会において、総務省の人材育成等専門家派遣事業を活用し助言、情報提供を受け、女性職員の活躍できる環境整備の進め方について検証を行う予定との答弁があったが、事業は実施されたのか。</p> <p>ウ 同じく昨年6月議会で副市長が、女性の課長職を増やすための取組を通してまずはその予備軍である係長職の女性が増えていくことが望ましい、そのために男女を問わず早く帰宅し、男女ともに家事を分担できるよう労働時間管理に注力していきたいと答弁されたが、この点に関する市の取組状況を伺う。</p>		

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	庵下 信一議員	1 新庁舎建設基本設計(案)の説明会を終えて	<p>(1) 「伊佐市新庁舎建設基本設計説明書」について、本冊には(案)がなく説明資料には(案)が表示されている。この表示の違いについて伺う。</p> <p>(2) 今回の説明会について印象は。また、説明会は理解され納得されたと思うか伺う。</p> <p>(3) パブリックコメントの提出数は。またコメントの内容と内容別の数と公表の方法は。また、実施設計に活かされるか伺う。</p> <p>(4) 新庁舎の規模・財源計画について伺う。            ア 新庁舎面積 6,291 m<sup>2</sup>とふれあいセンター3,927 m<sup>2</sup>の一部を庁舎として使用する面積を含めて、庁舎の実質面積は何m<sup>2</sup>になるか。            イ 新庁舎建設・ふれあいセンターの資金計画について、30年間の償還計画と公債費の推移について伺う。            ウ ふれあいセンターを撤去する場合、新築する場合の各費用はいくらであったか。また、アトリウム部分撤去による除却額(損)はいくらか。</p> <p>(5) 菱刈庁舎の機能存続について、事業部門の配置(現行維持)の質問に要望として承るとされたが、まだほかにも要望とされた質問があった。どのように整理対応されるのか。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	庵下 信一議員	2 日本フードパッカー鹿児島㈱・日本ピュアフード㈱鹿児島工場の動向について	(1) 伊佐市の相談窓口や関連企業雇用対策本部会議・離職者等支援会議の開催状況と対応について伺う。 (2) 同業種他社の進出計画など現在までの進捗状況（動向）について伺う。	市長	



# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち17枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	畑中 香子議員	1 庁舎建設について	<p>(1) 住民説明会について</p> <p>(2) 基本構想、基本計画が発表されてから一貫して菱刈庁舎分を含む8,000㎡は大きすぎる、40億は豪華すぎるとの声に対し「40億が一人歩きしている、費用の節減を図る」と答えてきたが、菱刈庁舎の廃止を念頭に6,500㎡、40億を大きく超えて58億円以上かかることが明らかになった。費用を節減するためにふれあいセンターとの一体化としていたが、かえって費用がかかることになったことについて説明せよ。</p> <p>(3) 改めてふれあいセンターの改修については住民の意見を聴取し、庁舎建設とは切り離して計画しなおすべきではないのか。</p> <p>(4) 物価高騰や情勢を考えると費用が増大する可能性が高い。説明会場で「80億、90億に高騰してもこのまま進めるのか」とたずねた方に対し、「このまま進める」と明言されたが、設計業者も参加している説明会でこのような発言をされたことは問題ではないのか。</p>	市長	
		2 教育問題について	<p>(1) 前教育長の官舎に旧統一教会の旗が掲揚された問題について経緯を説明せよ。</p> <p>(2) 鹿児島県家庭教育支援条例の取組について            ア 条例制定後、学校や地域においてどのように取り組まれてきたか。            イ 理念に対する教育長の見解を伺う。            ウ 本市で家庭教育支援条例の署名が取組まれたことについて。</p>	教育長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち18枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	畑中 香子議員	3 適正な補助金支出について	(1) 隣保館における活動は適正に行われているのか。 (2) 活動費の支出は適正か。 (3) 館長の選出方法について伺う。	市長	
		4 インボイス制度について	(1) コロナ禍や物価の高騰で、経済が悪化し、労働者の実質賃金は上がらない中で国民・市民の暮らしは困難を極めている。このような中で来年10月からインボイス制度が実施されようとしているが、年間売り上げ1,000万円以下の事業者にとって、消費税の納入か、取引先からの取引中止を迫られるかという死活問題であるとして全国で導入中止を求める意見書が採択されるなど、大きな問題となっている。 これまで免税業者であった業者は来年10月からインボイス発行業者にならなければならないが、市内における免税業者の数は。また市との取引がある業者のうち、免税業者の数は。 (2) 市が取引をしている業者でこれまで免税業者であったがインボイス発行業者とならない場合、市が消費税を負担しなければならないが、対応策は。 (3) 高齢者のいきがいや、就労機会確保等の目的で運営されているシルバー人材センターの会員はインボイス発行が難しくシルバー人材センターの運営にも支障をきたすが、市としてどのような対策を講じる考えか。	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち19枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	畑中 香子議員	5 徴税事務について	<p>(1) 11月広報紙に税の徴収について「逃げ得はゆるさない」との掲載があったが、「逃げ得」とされる事例があったのか。</p> <p>(2) 物価高騰やコロナ禍による経済状況の悪化で税の納入が困難な市民が多い中で「払いたくても払えない」市民も多くおられる。このような方に対して悪者と決めつけ、脅しともとれるような徴税事務を行っているのではないか。</p>	市長	

# 令和4年第4回定例会一般質問

令和4年12月8日・9日・12日

(20枚のうち20枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	竹原 研二議員	1 菱刈カヌー競技場のこれからの在り方について	<p>(1) 国体まで1年を切ったが、カヌー競技がまだ市民にあまり知られていない。全国からたくさんの人がカヌー競技場にやってくるのだがその前に市民に周知する考えはないのか伺う。</p> <p>(2) パラリンピック日本代表が合宿にきているが、受入体制は大丈夫なのか。宿泊施設、防災の観点から伺う。</p>	教育長	